

【テーマ2:「戸田市SEEPプロジェクト」を支える教員研修のアップデート】

【戸田市教育委員会】

【市主催研修(対象人数)】

夏季教職員専門研修(376人)、教科教育研修(13人)、センター研究員(21人)

【モデル校研修(対象人数)】

美谷本小学校(19人)、喜沢小学校(23人)、戸田中学校(31人)、笹目中学校(35人)

【本事業に当たって連携・協力・指導を依頼した大学・企業等】

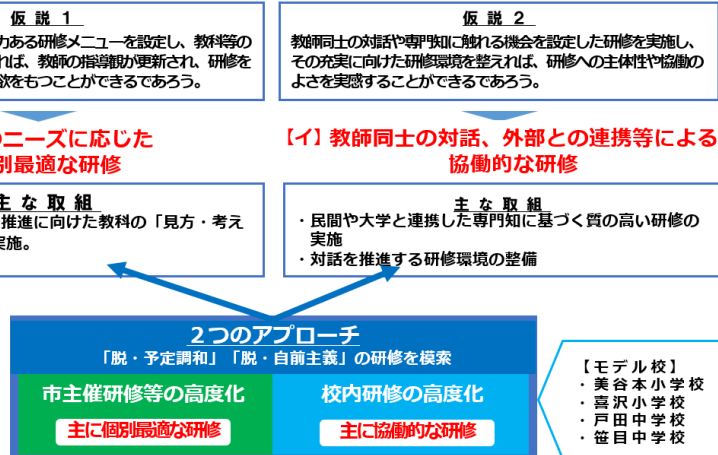
文部科学省、埼玉県教育委員会、埼玉大学、千葉大学、福井大学、開智未来大学、国士舘大学、早稲田大学、福岡教育大学、白梅学園大学、Google for Education、(株)LITALICO、フューチャーインスティテュート(株)、アチーブメント(株)、(株)フランクリン・コヴィー・エデュケーション・ジャパン、(一社)アルバ・エデュ、(一社)UNIVA、

モデル開発概要

現場における課題

- ◆ 子供の「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現するためには、それを支える教師の学びも同様に転換されなければならない。しかし、これまでの教育委員会主催研修は職階や職責、キャリアステージに応じたものがほとんどであり、また、校内研修は全員が同じテーマと同じ時間で実施されており、必ずしも教師のニーズや満足感を得られていない。また、教師同士の対話や社会に開かれた教育課程の実現が目指される中、民間・大学等と連携した研修推進も概ね1つの事業者と学校に止まり、多様な協働体制が確立されていない。

モデルの概要



高度化に資する取組

市教育委員会主催研修の高度化

- ◆ 教師が自身のニーズに応じて教科の見方・考え方に浸ることができるような研修を実施し、主として教師の「個別最適な学び」の実現に資する授業改善に向けたスキルアップや意識の変容(指導観の更新)を目指した。

研修名	高度化の特色
教職員専門研修	教師が自身のニーズに応じて選択可能な「教科等指導法研修」をオンラインで開催。年次研修を除くすべての教師が参加。
教科教育研修	専門知を有する大学教授が授業研究に伴走支援する。指導案検討から研究授業、事後のフィードバックまでサポート。
センター研究員	外部講師を指導者として招聘したり、先進地を視察したりするなど、研究員のニーズに応じた取組をサポート。

モデル校における校内研修の高度化

- ◆ 校長を中心としたカリキュラム・マネジメントの下で、民間や大学と連携して、「脱・予定調和」「脱・自前主義」や対話を通じた校内研修及び環境整備等を含めた各学校の特色ある取組を通して、主として教師の「協働的な学び」を実現することを目指した。

モデル校	研修内容	高度化の特色
美谷本小学校	学級経営、SEL、非認知能力、教師の話す力	内容ごとに外部講師の招聘
喜沢小学校	SWPBS、個別最適な学び	外部講師による伴走支援、ミニマム型研修システム
戸田中学校	PBS、PBL、主体的・対話的な深い学び	外部講師による伴走支援、複数教科横断チームによる研修
笹目中学校	7つの習慣、個別最適な学びと協働的な学び	研修推進コンサル委託、学びたい研修の選択

モデルを活用する上でのポイントや期待される効果

- ◆ 市主催研修では、教師のニーズに応え、教師同士の対話の機会が十分設定されている研修は、満足感と研修後の実践意欲に高い変化が見られた。事前のニーズの把握や、対話の場を設けるとともに工夫した研修が必要である。
- ◆ 校内研修では、焦点化された研修内容よりも学校の課題に応じた多様で幅広い内容を扱うことで、満足感や研修後の実践意欲に高い変化が見られた。特に、日々の指導に直結する学習指導や配慮を要する児童生徒への支援の在り方などについて、専門知を有する外部指導者に伴走して支援に入ってもらったことが効果的であった。